

その他の建設業－その他における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	14~15	見積り依頼があり、終了して会社に戻る途中、狭い道路で対向車とのすれ違い時、対向車のスピードが速く道路沿いの駐車場に停まっている車にぶつかり、その衝撃で首を痛めてしまった。	27	—
2	17~18	工事作業現場から会社に戻るために社用車を運転し、交差点にて信号待ちで停車していたところ、後続車に追突される。その際、首・腰・背中に強い衝撃を受け負傷した。	37	—
3	13~14	会社から現場に向かうため北東に向いて走行し、交差点の信号が赤信号であったため、前方の車両に続き停車したところ、後方から走行してきた車に追突された。	61~49	30
4	8~9	朝礼等の終了後、3tダンプに2名同乗し、3名にて現場へ向かうため走行中、運転手が運転席の足元に気をとられよそ見をし、道路左側のガードレールに衝突した。	57	1~9
4	16~17	自社工場から作業現場へ向かうため2トン車で走行中、運転操作を誤り、道路右側のガードレールを突き破り、約7メートル下の崖下に転落し、全身打撲、頸椎捻挫を負った。	55	10~29
5	19~20	看板設置の為、現場へ車で移動中、交差点にて赤信号で停車中、後方より追突された。	35	1~9
6	12~13	他事業所へ荷物の運搬後、帰社中、信号待ちをしていたところ、3台後ろの後続車両が追突した。そのまま玉突きで車両後部に接触した。病院にて、頸椎捻挫とすることで1週間安静との診断を受ける。	34	50~99
		幅約3mの町道上で路肩の除草作業を行っている時に、刈った草を集め、ダンプト		

7	10~11	トラックに積み込もうとして、停止していた2tダンプトラックが合図により後退しようとした時、約1m後方の路肩にいた被災者が、そばにいた作業員に話しかけながらダンプトラックに対して後向きで道路を横切ろうとして、後退し始めたダンプトラックと接触し、気づいた運転手が停車したが、倒れた被災者はダンプトラック下部分に挟まれ圧迫された後、助け出された。	59	1~ 9
7	15~16	インターの間で、処分場から現場へ戻る途中、前方から鳥が飛んできて避けようとハンドル操作を誤り、追越車線側のコンクリート壁にぶつかった。	20	10 ~ 29
9	12~ 13	交差点にて信号待ちをしているところに、後方より追突された。	48	30 ~ 49
10	4~5	走行中、対向車線より中央線を越えてくる対向車に気づき、回避のため、ハンドルを切ったが間に合わず、対向車線上で衝突した。	38	1~ 9
10	4~5	走行中、対向車線より中央線を越えてくる対向車に気づき、回避のため、ハンドルを切ったが間に合わず対向車線上で衝突した。	49	1~ 9
10	4~5	走行中、対向車線より中央線を越えてくる対向車に気づき、回避のため、右ハンドルを切ったが間に合わず対向車線上で衝突した。	33	1~ 9
12	11~12	会社管理倉庫における棚卸し作業を終え、現場事務所へ戻るため走行中に、運転を誤り、前方を走行していた軽自動車車両後部に追突した。追突した衝撃により車体が反対車線に飛び出し、反対車線を走行していた大型ダンプトラックと正面衝突をした。追突の衝撃により、右大腿骨・骨盤・肋骨を骨折した。	52	500 ~ 999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html